

令和6年1月24日

足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努 様

足立区立栗島中学校 開かれた学校づくり協議会
会長 平田 丈雄

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったため、入学式への参加や日頃の授業の様子などを参観をすることができ、栗島中学校の生徒の姿や日頃の教育活動と行事から、先生方の取り組みのすばらしさを感じることができた。栗島中学校では、取り残す生徒をつくらない良さがあり、個別の支援が行き届いている。また、授業では、生徒が自ら考え、率先して何事にも取り組んでいる姿が随所にみられた。また、協議会委員や地域からの声にも、栗島中学校の生徒たちが良くあいさつをすること、困っている人がいれば声かけができる事などが挙げられていた。これも一重に栗島中学校の教育活動が実を結んでいる結果だと捉えている。さらに、保護者から聞く学校の様子も、教員が生徒一人一人を大切にしながら熱心に授業を行い、生徒も落ち着いた雰囲気の中で真剣に取り組んでおり、学習にもつながっていきっていると聞いている。

栗島中学校の伝統として取り組んでいる「立志の時間」（総合的な学習の時間）において「自ら考え、調べ、まとめ発表する力を育む」活動を通して、学習発表会のみならず、朝礼、受験の面接などで力を発揮しており、3年間計画的に取り組んでいる成果であると考えている。

栗島小学校との小中連携においても、連携を円滑に進める研修会を実施し、常に子どものために研鑽を積んでおり、地域の子どもたちを地域で育てようという意識の高さがうかがえる。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

今年度は教職員の大幅な入れ替わりがあり、心配な声も聞かれたが、伝統を大切にされた教育活動が円滑に進んでいる。教職員の異動が6年ということもあり、人が入れ替わっても、栗島中学校の良さを踏襲し、さらによくしていく取り組みが期待されている。新入生予定数も大幅に増えていることから、栗島中の特色となっている「個に応じた温かい指導」を継続することが今後の課題であると考えている。引き続き地域行事にも、積極的に参加してもらいたい。

3 その他

栗島中学校は、「立志の時間（総合的な学習の時間）」に力を入れている。「自ら課題を見つけ、調べ、考えることを通して、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身に付けた将来を背負う若者の育成」という意味でも、先見性のあるとてもすばらしい教育を行っている。このことを継続するとともに、これまでの一人一人の子どもを丁寧に育てる教育を維持し、地域の学校として、さらなる発展を期待する。